
昔のメール

九条 洋実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昔のメール

【Zコード】

N7704M

【作者名】

九条 洋実

【あらすじ】

家族が嫌う、祖父の家。

嫌な事でもあったのでしょうか？

(前書き)

昔のメールに興味深い事が書いてあったので、ちょっと紹介します。

中学時代、オカルト好きの先輩に送ったメールです。
一部、読みやすいように改変、絵文字等は消します。

* * *

元気ですか？夏休み終わりで嫌なんだけど一応元気です。

(略)

で、父さんの方のじいちゃんの家。
もう何年も行ってないんですよね。

父も、母も、寄り付こうとしないっていう。

いや、別に交流がない訳じゃないんです。ほんと。

こないだの金曜日も食事に行つたんで。
ホントはいやなんですけどね。家族行事つて。
なんかうぎつたくて。

で、まあきてみたんですよ。
なんでなのか。

母さん

『夜になると押し入れから変な声がする。』

『中庭の向こうの廊下で影がよぎる。』

『一階の窓（一階の外は川になつていてほぼ崖なんです。）に何かがぶら下がってる事がある。窓の隙間から柄物の浴衣が見えた。』

『一階の奥部屋に行くと頭が痛くなる。』

父さん

『何かが階段を転げ落ちる音がする。』

『屋根裏の物置で幼子のけたたましい泣き声がする。』

『たまに一階の奥部屋の扉が開かなくなる。無理に開けようと押し戻される。』

『おまえがしょっちゅう変になつていた。こきなり意味不明の事をつぶやいたり、棒になつたように硬直したり。』

で、そつ言えば昔。

夜中になると必ずテレビの音で目が覚めて、映像見ると家の一階の廊下で、奥部屋の戸が開いて、誰か出たり、何も起らなかつたり。

そんな映像が映つてたんですね。

あれつてそういうえば、そなんでしょうね。

* * *

で、こんな見つけたんで、行つきました。
訊くと、そこは昔、女郎屋だったらしいです。

建物自体はほぼ改装したそうですが、奥座敷には今でも窓に格子がはまっています。そこだけ変わつてないのは、何があつたからでしょう。

その夜は何もなかつたんですが、帰り際に奥座敷から『ぐしつ、

ぐしつ』といつよつな、大きな音がしてました。
たたみをこすつたみたいな、でもちょっと水氣を含んだ、嫌な音
でした。

(後書き)

、 、 、 と、 い、 フイクショ、 ンで、 す。

一、 応、 嘘、 で、 す。

、 、 、 、 多、 分、 ね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7704m/>

昔のメール

2010年10月28日04時12分発行